

平成23年度第1回大分県行財政改革推進委員会 主な意見

指定管理者評価制度について

- 今は4段階評価が教育の場やいろんなシステムで主流になっている。5段階評価では、良い案が浮かばない時に真ん中の評価をしてしまうので、安易な5段階評価はしないでほしい。評価のいろんな観点について本も出ているので、研究してほしい。
- 施設の利用者数で評価するのは、極めて安易な物差し。その組織でなければ考えつかないような、組織独自の評価の観点が大事になる。
また、評価の観点が、作った時のままで、現在の状況を踏まえていないのはおかしいと思う。
- 5段階評価の5の場合には「5つメジロン」と言うなど、大分県らしさを評価に付け加えるといいのではないか。
- 施設の利用度合いや点数評価だけでなく、施設が地域とどう繋がっているかなど、広い視点を持って指定管理者を評価してもらわないといけない。
- せっかく指定管理者が良い管理を行っているのに、一部の悪い部分だけ見て「だめ」という評価を付けるのはよくないと思う。所見評価の部分重要視して、どこが悪いということよりも、良いところを伸ばしていくような評価をしたらいいのではないか。